

地域づくり活動NP0事業助成事業 実績報告

事業区分 (3 — 6)

団体名	(特非) きょうどうのわ	代表者名	(職名) 理事長	(氏名) 森井 章二
事業名	六甲アイランドの団体活性化と住民の活動参加を応援する事業			

<事業実施実績>

年月日 定例は「月1回」 「毎〇曜日」等 で記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) ※講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
7月6日	RICふれあい会館	30 28 (2)	団体交流・事業説明会（本事業への協力呼び掛け）
6月25日	RICのわ	9 8(1)	第1回実行委員会
8月24日	RICのわ	9 8(1)	第2回実行委員会
9月15日	六アイ全戸		フェスタチラシ配布（7000部） 店舗・施設等配架500部
9月29日	神戸ファッション美術館	300 295(5)	六アイ・コミュニティフェスタ開催
10月19日	インターネット		Media Roccoが六アイ・コミュニティフェスタのレポートを配信
11月5日	各団体活動拠点	9 8(1)	活動見学ツアー“アウトドアコース”
11月15日	各団体活動拠点	12 11(1)	活動見学ツアー“インドアコース”
12月16日	RICのわ	9 8(1)	第3回実行委員会
2月6日	RICふれあい会館	31 29 (2)	報告交流会（フェスタの報告、反省と今後について検討）

<効果と成果>

9月29日(日)に開催した「第2回六アイ・コミュニティフェスタ」には、地域活動団体を中心に、CITY自治会(8000戸)や神戸市協働局が初出展し、昨年に続いて参加した神戸国際大学・大栄環境(株)を含め、多様な34団体が集結した（昨年度から7団体増加）。来場者は昨年同様の300人ほどであったが、動線の改良により滞在時間が増え、多くの団体ブースが、面談する住民でにぎわった。アンケートの回答者も7割増で「昨年に比べて交流が活発だった」「展示が見やすかった」といった意見が多かった。また、活動参加や見学の申し込みが22件あったことから、「活動の担い手不足解消」という課題について成果を上げることができたと考えている。11月には8団体の協力を得て「活動現場見学ツアー」を2コース実施し、19人(うち学生3人)が参加した。参加者の中から、5人がゴミ出しお手伝いやバラ園ボランティアに加入し、3人がXmasイベントを手伝うことになった。事業初年度の昨年は「団体や活動の周知」という目標には到達したものの、「興味

を持っても単独で団体に飛び込むのはハードルが高い」という意見が出た。その声に応える形で実施したツアーは、複数の活動者の加入という効果があり、他地域にも伝播しようと考えている。

<今後の展望>

多世代交流の機会を多様に提供することで、地域参加のハードルを下げ、いつの間にか活動者のすそ野や年代が広がっているようなイメージで、住民と団体のつなぎ役や団体間連携の支援をしていくという方向性は間違っていないということもこの2年間の取り組みの中で確認できた。単なる地域のお祭りではなく、明確な意図を持ったイベントということもあるが、来場者の地域活動に対する関心は非常に高かった。中でも、これまで地域活動に参加したことがない20代～40代の層に、「少し関心がある」と答える割合が多かったことに注目している。これらの言わば「担い手の卵」とも言える人の興味関心を高め、参加に踏み出すためのスイッチを押せるかが課題だと思っている。そのためには、それぞれの活動の魅力や情報発信力が高まることが大事であり、イベントや交流会、実行委員会などを通して、互いに良いところを学び合い、連携を深めることが地域活動全体の底上げにつながるのではないだろうか。先日開催した報告交流会では、早くも来年に向けた新たな提案（複数の団体によるシンポジウムをプログラムに入れるのはいかがでしょうか）があった。この2年の成功体験を経て活動団体のモチベーションは非常に高まっており、事務局として事業継続を進める原動力となっている。

<収支決算書> (収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	500,000
自己資金等	48,522
合 計	548,522

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	スタッフ謝礼	165,000	165,000
	業務委託	110,000	64,478
	印刷・ポスティング費	92,950	92,950
	その他（団体謝礼等）	180,572	177,572
	小 計	548,522	500,000
間接経費（一般管理費）			
合 計		548,522	500,000